職員に対して賃金改善以外で取り組んでいる処遇改善の内容

入職促進に向けた取組	法人の経営理念やケア方針・人材育成方針を基に、その実現のための一環とした教育体制を整えています。
	職業体験の受入れや地域行事への参加を積極的に行い、地域の介護人財育成に積極的に取り組んでいます。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す職員に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする職員に対するユニットリーダー研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、マネジメント研修などの受講支援を行っています。
	担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会を設けています。
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度などを整備しています。
	有給休暇の取得促進のため、情報共有や業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っています。
腰痛を含む心身の健康管理	定期的な健康診断・ストレスチェックや、上司による定期的な面談などの健康管理対策を実施しています。
	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、抱え上げない介護の推奨と環境整備、腰痛対策の研修などを実施しています。
生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組	厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善のための委員会やプロジェクトチームを中心に働きやすい環境づくりを行っています。
	５S 活動（業務管理の手法の１つ。整理・整頓・清掃・清潔・躾の頭文字をとったもの）を実践し、職場環境の整備を行っています。
	記録、情報共有、介護請求業務などに情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末）を使用するなど、充実した ICT 環境を整えています。
やりがい・働きがいの醸成	毎日のミーティングで個々の職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善を行い、職場内コミュニケーションの円滑化によって風通しの良い職場になるように努めています。
	地域の一員として、秋まつりやサロン・自治会行事にも積極的に参加し、近隣の児童・生徒や住民との交流を定期的に行っています。